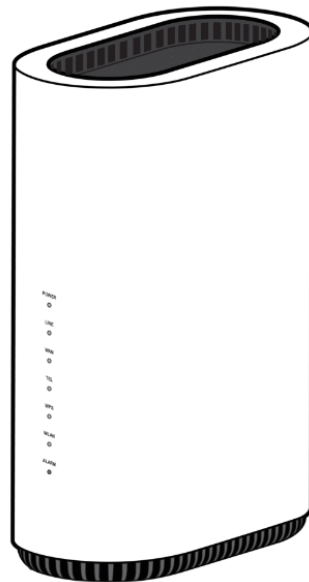




XGS-PON 光回線終端装置

XS-1426X-A



ユーザーマニュアル

本書はパソコンをインターネットに接続する基本的な知識を有する方を対象としています。

もくじ

1	はじめに	11
1.1	梱包物	11
1.2	製品仕様	12
2	製品概要	13
2.1	ハードウェア概要	13
2.1.1	前面パネル	13
2.1.2	後部パネル	14
2.2	ハードウェア接続部	15
3	設置方法	16
4	無線 LAN 接続方法	18
5	有線 LAN 接続方法	19
6	WebGUI へのログイン方法と使い方	20
6.1	ログイン/ログアウト	20
6.1.1	ログインする	20
6.1.2	ログアウトする	22
6.2	管理画面の基本操作	23
6.3	設定メニュー一覧	24
6.4	概要	25
6.5	WAN	27
6.5.1	WAN サービス	27
6.5.2	WAN 統計	29
6.5.3	光モジュールのステータス	32
6.6	LAN	33
6.6.1	DHCP IPv4	33
6.6.2	DHCP IPv6	34
6.6.3	LAN 統計	36
6.7	WiFi	37

6.7.1	WiFi ネットワーク	37
6.7.2	高度な設定	40
6.7.3	WiFi 統計	44
6.8	デバイス	45
6.9	セキュリティ	46
6.9.1	MAC フィルター	46
6.9.2	ファイアウォール	48
6.9.3	IP フィルター	50
6.9.4	URL フィルター	53
6.9.5	DMZ と ALG	54
6.10	高度な設定	55
6.10.1	ポート転送	55
6.10.2	ポートトリガー	57
6.10.3	NTP	58
6.10.4	UPnP	59
6.11	メンテナンス	60
6.11.1	パスワードを変更	60
6.11.2	診断	61
7	トラブルシューティング	62

安全上の注意のために必ずお読みください

本装置をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様や他の方々への危険や、財産への損害を未然に防ぐために、下記の注意事項を必ずお守りください。将来参照するためにも、この取扱説明書は大切に保管してください。

本書では、本装置に対して誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその損害の程度を次の区分で説明しています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負ったり、物的な損害が発生したりする可能性があることを示しています。

マークは下記の意味を表しています。

	感電注意		禁止事項
	発火注意		水濡れ禁止
	高温注意		濡れ手禁止
	レーザー注意		分解禁止
	強制事項		

クラス B 情報技術装置

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



設置について

- 本装置の電源プラグは、たこ足配線にしないでください。また、延長コードは使わないでください。感電や火災の原因になることがあります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、感電や火災の原因になることがあります。
- 電源コードは、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを上に置いたりしないでください。感電や火災の原因になることがあります。
- 電源を接続する前に、定格電流をご確認ください。同じ電源コンセントに対して、他の高い定格電流の装置（例：ヘアドライヤー、冷蔵庫、アイロンなど）と一緒に使わないことを推奨します。火災の原因になることがあります。
- 本装置を、燃えやすい物や導電性のある物、温度の高いところ、直射日光の当たるところ、湿度の高いところ、高熱を発する家電などの近くに置かないでください。火災や故障の原因になります。
- 本装置を、小さな金属類の近くに置かないでください。本装置の中に小さな金属が入ると、感電や火災の原因になることがあります。
- 風呂場、シャワー室、洗面所、調理台など、水がかかる場所に置かないでください。本装置に水や液体がかかって中に入ると、感電や火災の原因になることがあります。
- クーラーや暖房機のそばなど、結露が起こるような場所には置かないでください。感電や火災の原因になることがあります。
- 本装置は平らな場所に置いてください。また本体は横に倒さず縦置きで設置してください。本装置が落下したり倒れたりして、ケガや故障の原因になることがあります。



警告

- 定期的に電源コンセントと電源コードを確認し、損傷している場合は交換してください。感電や火災の原因になることがあります。
- ごみやほこりの多い場所に置かないでください。感電や火災の原因になることがあります。



使用するにあたり

- 本装置を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になることがあります。本装置に問題が発生したり、修理が必要な場合は、サービス事業者に連絡してください。
- 濡れた手で本装置や電源アダプタに触れないでください。感電の原因になることがあります。
- 付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを本装置以外に使用したりしないでください。感電や火災の原因になることがあります。
- 万が一装置内部に、水や液体、金属類や燃えやすいものなどが入ってしまった場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源コンセントから電源コードを抜いて、サービス事業者に連絡してください。感電や火災の原因になることがあります。
- 煙が出たり、異臭や異音がした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源コンセントから電源コードを抜いて、サービス事業者に連絡してください。感電や火災の原因になることがあります。
- 落雷が予測される場合は、本装置の使用を中止し、電源コンセントから電源コードを抜いてください。感電や火災および故障の原因になることがあります。
- 本装置は家庭での使用を目的に設計されているため、直接人命に関わる医療機器や、極めて高い信頼性が求められるシステムには使用しないでください。



警告

- 本装置は日本国内専用です。海外などの異なる電圧で使うと、火災や感電の原因になることがあります。変圧器を介した使用もしないでください。



レーザーの安全について

- 本設置の設置や光ファイバーケーブルの移動、および本装置に関するファイバー関連のユニット移動は、レーザー放射による障害に関して非常に詳しい、適切な資格を持ったサービス担当者に委託してください。
- 光ファイバーケーブルをコネクタから外すとき、光ファイバーケーブルから見るできないレーザーの放射がある可能性があります。そのため、レーザーの安全に関する下記の危険性について注意してください。
- 光モジュールに光ケーブルを差し込む際は、レーザービームに目がさらされないよう必要な予防策を取ってください。目を損傷する可能性があります。
- 直径が 7.5cm より小さくなるように光ファイバーケーブルを曲げないでください。光ファイバーケーブルが損傷したり、通常より光信号が弱くなる可能性があります。
- 本装置は送出する光出力に基づき、クラス 1 レーザー製品に分類されます。



クラス1 レーザー製品

注意

- 本装置を、花瓶、植木鉢、コップ、薬品、化粧品など、水や液体の入った容器のそばに置かないでください。水や液体がこぼれて本装置に入ると、感電や火災の原因になることがあります。
- 本装置が高温にならないように、設置場所が通気性のある場所であることを常に確認し、また、本装置の上に物を置いたり、布類がかぶったりしないようにしてください。



注意

- 本装置に液体をかけないでください。回路がショートし、故障の原因になります。
- 本装置が高温にならないように、本装置の換気口をふさがないでください。火災や故障の原因になることがあります。
- 本装置が動作中のとき、長時間触れないでください。やけどなどの原因になることがあります。
- 本装置の上に乗らないでください。特に小さいお子様がいるご家庭では注意してください。壊れてケガなどの原因になることがあります。
- 電源アダプタのまわりのほこりは、定期的に取り除いてください。火災の原因になることがあります。
- 長期間使用しない場合には、電源スイッチを切り、電源コンセントから電源アダプタを抜いてください。
- 本装置を移動するときは、電源アダプタを抜いてから、落とさないよう注意して運んでください。接続したまま運ぶと、落下したり、ケガや故障の原因となります。
- 本装置は小さいお子様の手の届かないところに置いてください。電源コードを首に巻き付けたり、小さな部品を誤って飲み込むおそれがあります。



お願い

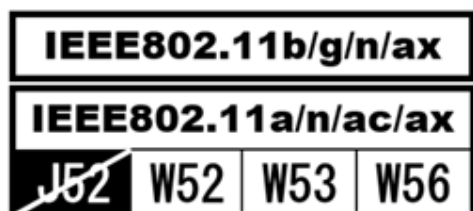
- 本装置を清掃するときは、その前に必ず電源コンセントから電源アダプタを抜いてください。また、清掃の際にはやわらかくて乾いた布を使ってください。清掃に、液体やスプレーは使わないでください。
- 他の通信機器を本装置に接続するとき、もしその通信機器を損傷するおそれがある場合は、サービスを提供している事業者にお知らせください。

商標について

- 「Ethernet」「イーサネット」は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

電波に関する注意事項

- 本装置は、技術基準適合証明等を受けています。
- IEEE 802.11a/n (5GHz)/ac (5GHz)/ax (5GHz) 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャネルは 36, 40, 44, 48 ch (W52)と 52, 56, 60, 64 ch (W53) と 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144 ch (W56) です。



W52 (5.2GHz 帯/36, 40, 44, 48 ch)、
 W53 (5.3GHz 帯/52, 56, 60, 64 ch)、
 W56 (5.6GHz 帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144 ch)
 が利用できます。

5GHz 帯で接続する子機は、下記の表示があるものを推奨します。

- ・ W52 (5.2GHz 帯/36, 40, 44, 48 ch)
 - ・ W53 (5.3GHz 帯/52, 56, 60, 64 ch)
 - ・ W56 (5.6GHz 帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144 ch)
- W53 (52/56/60/64ch) または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140/144ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・ 各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・ 通信中に該当のレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)/ax (2.4GHz)通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す。)が運用されている可能性があります。
 - (1) 本装置を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本装置と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用チャネルの変更や使用場所の変更、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りの場合には、サービスを提供している事業者にお問い合わせください。
- 2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)/ax (2.4GHz) 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。



2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
 DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
 8 : 想定される干渉距離が 80m 以下であることを示す
 ■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可

- 本装置を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1, CH6, CH11 のいずれかにすることを推奨します。」ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の CH1, CH6, CH11 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。

・ 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

1 はじめに

XS-1426X-A（以降「本装置」と呼びます）は、使いやすく、柔軟性があり、標準技術に準拠し、高度に統合された XGS-PON ONT（Optical Network Termination）装置です。ご家庭や SOHO（Small Office Home Office）、企業などで信頼性の高いブロードバンドサービスを提供します。

本装置は ITU-T G.9807.1 に準拠した XGS-PON 光インターフェースを装備し、次のユーザインターフェースを提供します：

- 高速インターネット接続、IPTV、ビデオオンデマンド（VOD）サービスなどに使うための、3つの速度自動検知機能付き 10/100/1000Mbps Ethernet インターフェースと、1つの速度自動検知機能付き 100M/1G/2.5G/5G/10Gbps Ethernet インターフェース
- 1つの音声（VoIP）サービス用ポート
- 2.4GHz 帯（IEEE 802.11b/g/n/ax）WiFi
- 5GHz 帯（IEEE 802.11a/n/ac/ax）WiFi

1.1 梱包物

1. XGS-PON 終端装置	1 個
2. 電源アダプタ	1 個
3. 同梱品リスト	1 枚
4. RJ-45 ケーブル	1 本
5. SSID ラベル(控え用)	1 枚
6. スペアラベル(設置業者様用)	1 枚
7. 取扱説明書	1 冊

1.2 製品仕様

- サイズ

長さ 160mm x 幅 85mm x 高さ 201.1mm

- 重さ

825g

- 環境条件

温度：－5℃～＋45℃

湿度：10%から 90%（結露しないこと）

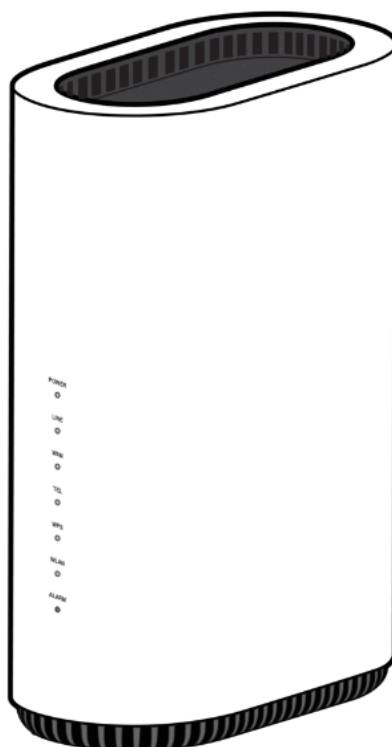
- 電源アダプタ仕様

入力電圧：AC100-240V/50-60Hz

出力：DC12V, 2.5A

- 消費電力

28.8W 以下

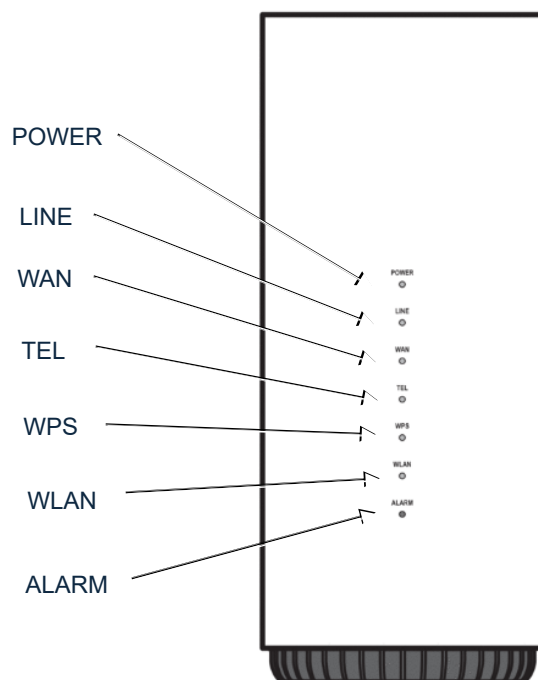


製品外観図

2 製品概要

2.1 ハードウェア概要

2.1.1 前面パネル

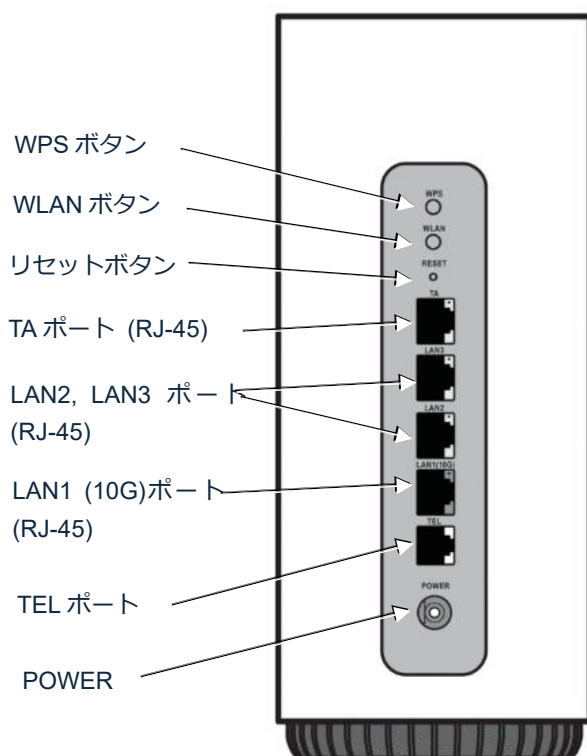


LED の表示内容

LED	色	状態	説明
POWER		消灯	AC 電源オフ
	緑	点灯	AC 電源にて動作中
	緑	点滅	ソフトウェアアップデート中
LINE		消灯	光ファイバーが接続されていない、または光信号を受信していない
	緑	点灯	XGS-PON リンク接続中（正常状態）
	緑	点滅	XGS-PON リンク接続実行中
WAN		消灯	機器がネットワークに接続されていない
	緑	点灯	IP 通信中
	緑	点滅	PPPoE または DHCP 接続が進行中
TEL		消灯	オンフック状態、または音声サービスが未提供
	緑	点灯	オフフック状態で、音声サービスが提供中
	緑	点滅	通話中
	赤	点灯	VoIP サービスが実施されていない
WPS		消灯	WPS 無効
	緑	点灯	WPS により端末と接続中
	緑	点滅	WPS 成功

	赤	点灯	WPS の例外ケースが起こった
	赤	点滅	複数の WPS のセッションを検知
WLAN		消灯	無線 LAN が無効またはリンクの接続がない
	緑	点灯	無線 LAN が有効
ALARM		消灯	アラームがない
	赤	点灯	光ファイバーが接続されていない、または光信号を受信していない

2.1.2 後部パネル



後部パネルのポートとボタン

LED	説明
WPS ボタン	ボタンを押すと、WPS (WiFi Protected Setup) の ON/OFF を切り替えます。
WLAN ボタン	ボタンを押すと、WLAN の有効、無効を切り替えます。
リセットボタン	ボタンを押す時間が 10 秒未満の場合は、ONT が再起動します。10 秒間以上押し続けると、装置が工場出荷時の設定にリセットされます。
TA ポート	音声サービス用 TA を接続します。
LAN2/3 ポート	RJ-45 10/100/1000Mbps イーサネットポート：ローカルネットワーク装置（PC、STB など）を接続します。
LAN1 (10G) ポート	RJ-45 100M/1G/2.5G/5G/10Gbps イーサネットポート：ローカルネットワーク装置（PC、STB など）を接続します。
TEL ポート	電話機またはファックスを接続します。
POWER	電源接続部：付属の電源アダプタを接続します。

2.2 ハードウェア接続部

- RJ45 TA インターフェース(TA)

電話サービス用の TA を接続します。

- RJ45 1G イーサネットインターフェース(LAN2/3)

コンピュータのネットワークインターフェースまたは他のネットワーク装置（例：イーサネットスイッチや IPTV Set-Top-Box など）を、RJ45 ケーブルを使って本装置の LAN ポートに接続します。2 つの LAN ポートは 10/100/1000M イーサネットインターフェースです。イーサネットインターフェースのスピードを 10Mbps、100Mbps、または 1000Mbps の中から自動的に検知します。

- RJ45 10G イーサネットインターフェース(LAN1)

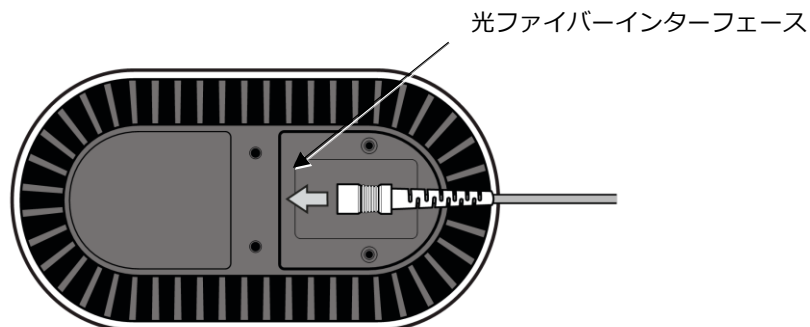
コンピュータのネットワークインターフェースまたは他のネットワーク装置（例：イーサネットスイッチや IPTV Set-Top-Box など）を、RJ45 ケーブルを使って本装置の LAN ポートに接続します。1 つの LAN ポートは 100M/1G/2.5G/5G/10G イーサネットインターフェースです。イーサネットインターフェースのスピードを 100Mbps、1Gbps、2.5Gbps、5Gbps または 10Gbps の中から自動的に検知します。

- RJ11 音声インターフェース(TEL)

本装置の TEL ポートには、RJ11 ケーブルを使って電話機やファックスを接続します。

- 光ファイバーインターフェース

ブロードバンド・インターネットサービス事業者が提供している光ファイバーを、本装置の光ファイバーポートに接続します。このとき、光ファイバーはシングルモードファイバーを、コネクタは SC/UPC コネクタを使用してください。ケーブルを接続する前に、光ファイバーインターフェースの保護カバーを取り外して、ファイバーが接続できるようにしてください。



装置底面（保護カバーを取り外した状態）

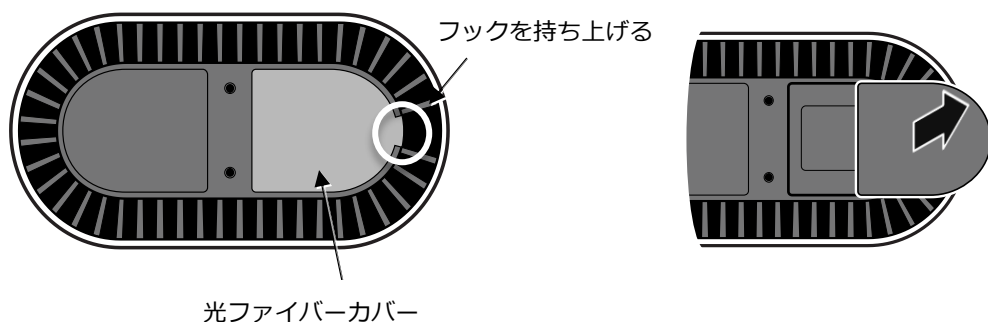
- 電源接続部

本パッケージに同梱されている電源アダプタを本装置の電源接続部に接続し、電源アダプタを電源コンセントに接続します。その後、POWER LED が点灯することを確認してください。

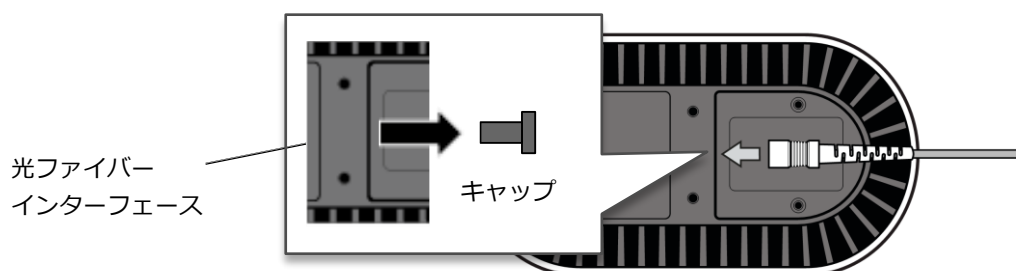
3 設置方法

本装置は下記のように設置します。

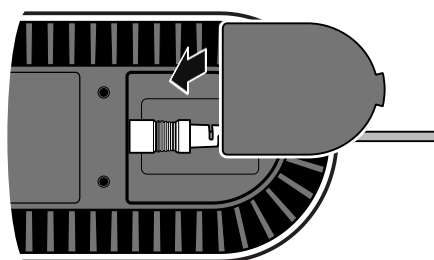
1 底面の光ファイバーカバーを取り外します。



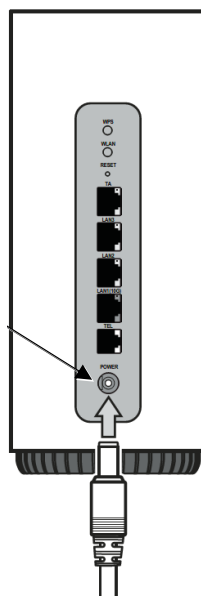
2 光ファイバーインターフェースについているキャップを外し、光ファイバーを接続します。



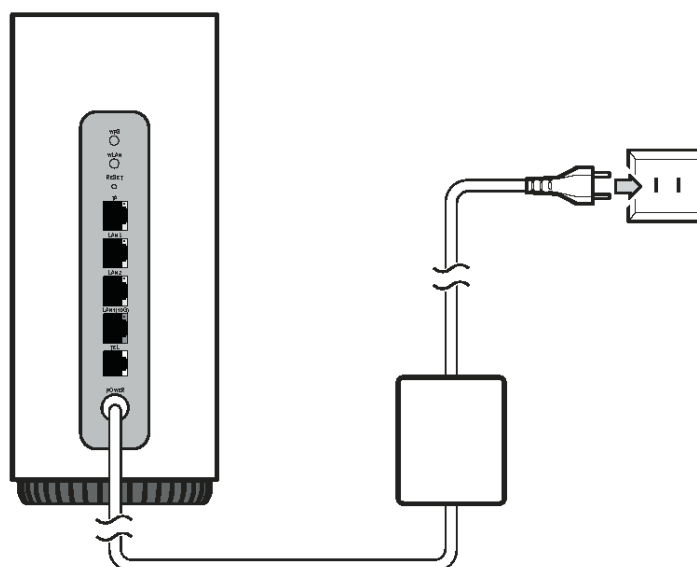
3 光ファイバーカバーを取り付けます。



4 後部パネルに電源アダプタを接続します。



5 電源アダプタの電源コードを電源コンセントに差し込みます。



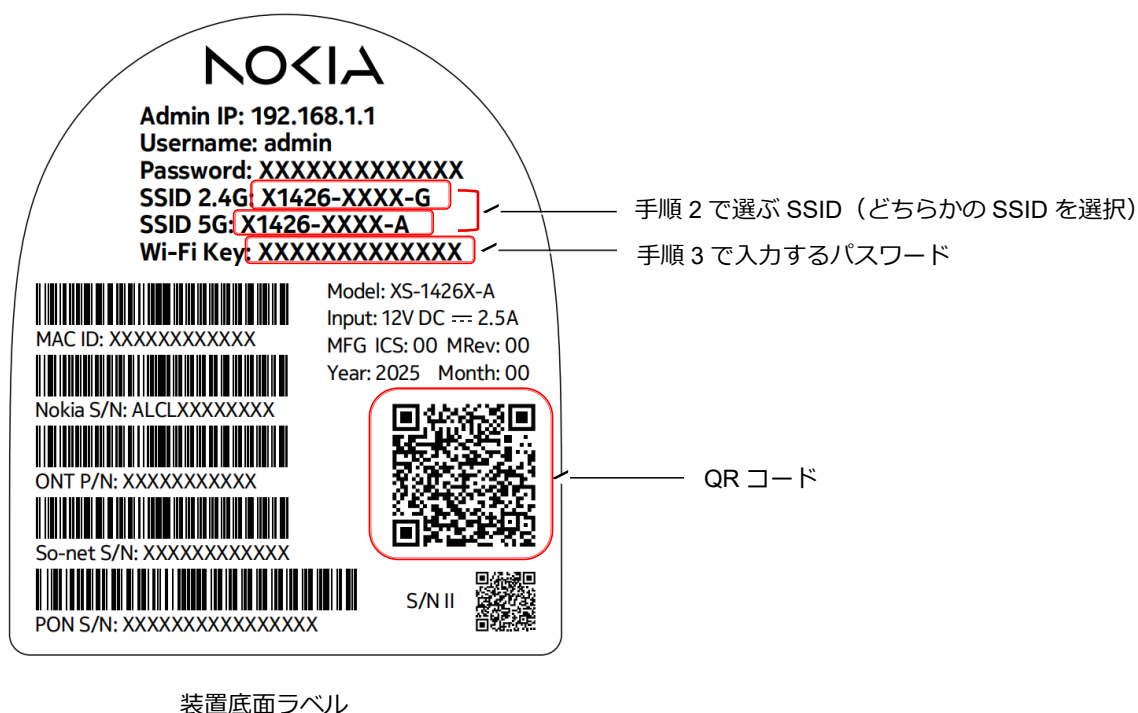
4 無線 LAN 接続方法

無線 LAN に接続するには、下記のように操作します。

- 1 お使いのスマートフォンやパソコンなどの無線 LAN の設定をオンにします。
- 2 表示される無線 LAN の SSID のリストから、本装置底面のラベルに記載されている SSID を選択します。
- 3 パスワードの入力を要求されたら、本装置底面のラベルに記載されている Wi-Fi Key を入力します。

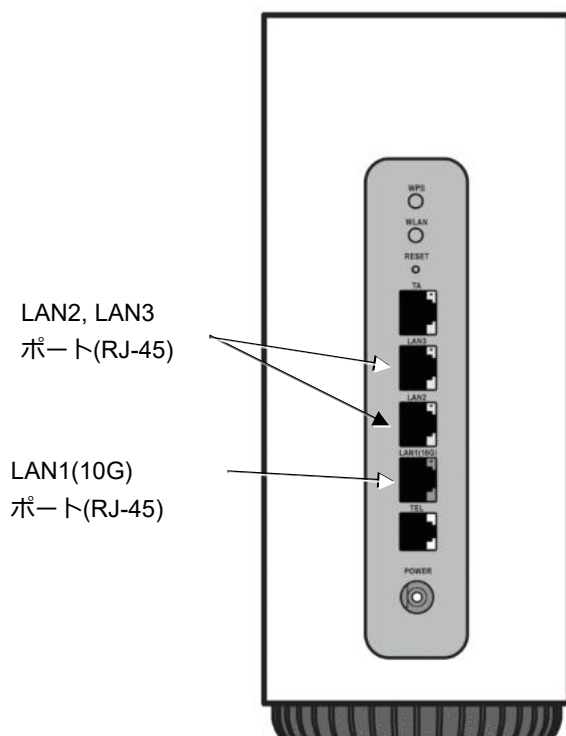
[QR コードを使った無線 LAN 接続]

本装置底面のラベルには、スマートフォンやタブレットなどで読み取ることで無線 LAN 接続できる QR コードが記載されています。大きい QR コードと小さい QR コードがありますが、大きい QR コードを読み取ってください。その後は、画面の指示に従い、無線 LAN 接続してください。



5 有線 LAN 接続方法

有線 LAN に接続するには、後部パネルの本装置の LAN1, LAN2 または LAN3 と、パソコンの LAN ポートを、付属の LAN ケーブルで接続してください。LAN1 で接続すると、本装置の最大通信速度で通信することができます。



6 WebGUI へのログイン方法と使い方

6.1 ログイン/ログアウト

XS-1426X-A の各種設定は、パソコンで管理ツールにログインして行います。

設定を行う前に、本製品とパソコンを付属の LAN ケーブルで LAN ポート 1～3 のいずれかに接続します。

ログイン/ログアウトは、以下の手順に従ってください。

6.1.1 ログインする

- 1 本製品の底面のラベルにある Admin IP を確認し、PC を接続した後、Admin IP へ ping が送信できることを確認し、Microsoft Edge などのブラウザのアドレスバーに Admin IP を入力し、Enter キーを押します。

もし ping が届かない場合は、パソコン側に Admin IP と同じサブネットの別の IP アドレスを設定して試してみてください。

ログイン画面が表示されます。

- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、[サインイン] をクリックします。

本製品底面のラベルで [Username] と [Password] を確認し、ユーザー名とパスワードを入力します。Password が下記画面で入力するパスワードになります。

- Username : xxxxxxxx
- Password : xxxxxxxx

注意

お客様ご自身でユーザー名やパスワードを変更された場合は、設定したユーザー名とパスワードを入力してください。



本製品の管理ツールのホーム画面が表示されます。



図の各情報はサンプルです。実際と異なる場合があります。

6.1.2 ログアウトする

1 管理画面で、[サインアウト] をクリックします。



確認メッセージが表示されます。

2 [OK] をクリックします。



管理画面が閉じます。

6.2 管理画面の基本操作

管理画面では、各種の設定を共通の操作で行えます。



フィールド	説明
① サインアウト	管理ツールからサインアウトします。
② メニュー	メニューの各項目をクリックすると、下にサブメニュー（設定項目）が表示されます。選択中のメニューは青字で表示されます。
③ 設定エリア	選択したサブメニューの設定項目が表示されます。

6.3 設定メニュー一覧

下記にメニュー一覧を示します。

メニュー	サブメニュー	機能説明	参照先
概要	－	装置に関する概要情報を確認したり、装置の再起動や工場出荷時の設定に戻すことができます。	P.25
WAN	WAN サービス	WAN 関連のネットワークの接続に関する設定を行います。	P.27
	WAN 統計		P.29
	光モジュールのステータス		P.32
LAN	DHCP IPv4	LAN 関連のネットワーク接続に関する設定を行います。	P.33
	DHCP IPv6		P.34
	LAN 統計		P.36
WiFi	WiFi ネットワーク	WiFi 関連のネットワーク接続に関する設定を行います。	P.37
	高度な設定		P.40
	WiFi 統計		P.44
デバイス	－	本装置に接続されている装置に関する情報が表示されます。	P.45
セキュリティ	MAC フィルター	ファイアウォールや各種フィルター、アクセス制限など、セキュリティに関する設定を行います。	P.46
	ファイアウォール		P.48
	IP フィルター		P.50
	URL フィルター		P.53
	DMZ と ALG		P.54
高度な設定	ポート転送	ポート転送やネットワーク・タイム・プロトコルなど、アプリケーションに関する設定を行います。	P.55
	ポートトリガー		P.57
	NTP		P.58
	UPnP		P.59
メンテナンス	パスワードを変更	パスワードを変更したり、本製品の診断を行います。	P.60
	診断		P.61

6.4 概要

〔概要〕メニューでは、装置に関する概要情報を確認できます。

1 メニューで〔概要〕を選択します。

端末に関する概要情報が表示されます。

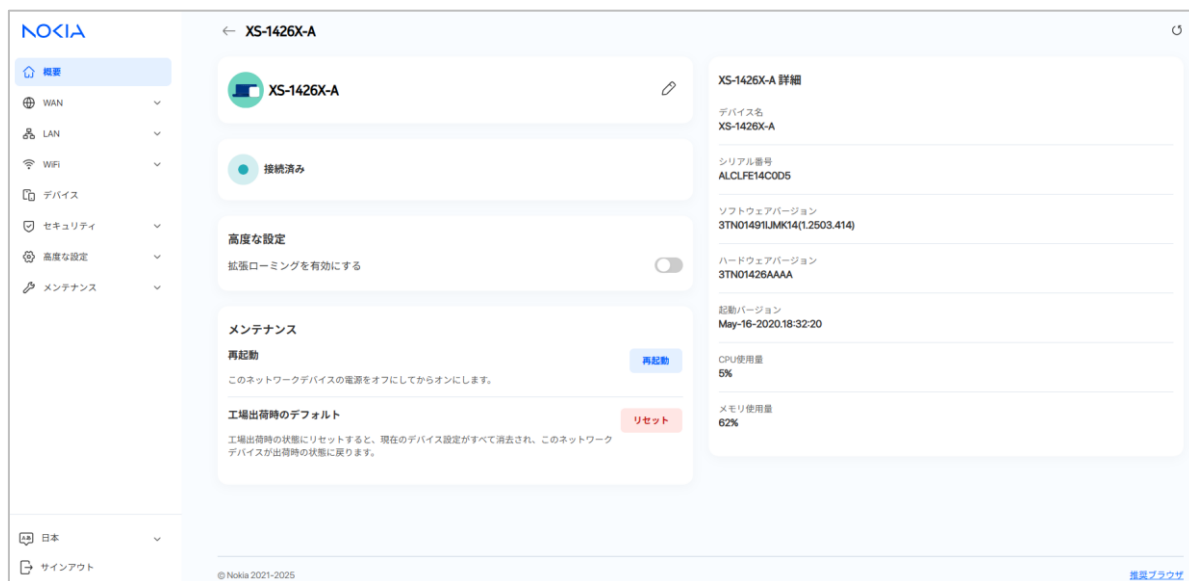


2 表示されている内容を確認します。

ネットワークへの接続状況と、WAN サービス、接続デバイス、WiFi ネットワークおよび LAN インタフェース状況の概要が表示されます。

フィールド	説明
ネットワークマップ	ネットワークに追加されている WiFi ポイントがネットワークマップに表示されます。デバイス名をクリックすると、詳細情報が表示されます。詳しくは手順 3 を参照してください。
サービスのステータス	WAN サービスの状況が表示されます。 すべて表示 をクリックすると、メニュー [WAN] > [WAN サービス] の画面に移行します。
接続されたデバイス	接続されたデバイスの概要が表示されます。 すべて表示 をクリックするとメニュー [デバイス] の画面に移行します。
WiFi ネットワーク	現在の WiFi ネットワークの概要が表示されます。WiFi ネットワークをクリックすると、名前とパスワードを編集できます。 すべて表示 をクリックすると、メニュー [WiFi] > [WiFi ネットワーク] の画面に移行します。
LAN インタフェースのステータス	LAN インタフェースの状況が表示されます。

3 ネットワークマップの「XS-1426X-A」をクリックすると、詳しい製品情報を確認したり、再起動や工場出荷時の設定に戻すことができます。



フィールド	説明
高度な設定	拡張ローミングを有効にするには、トグルボタンを選択します。
再起動	再起動 をクリックすると、ネットワークデバイスの電源を再起動します。
工場出荷時のデフォルト	リセット をクリックすると、工場出荷時の設定に戻します。
XS-1426X-A 詳細	
デバイス名	デバイス名。
シリアル番号	デバイスのシリアル番号。
ソフトウェアバージョン	デバイスのソフトウェアバージョン(ルートデバイスのみ表示)。
ハードウェアバージョン	デバイスのハードウェアバージョン(ルートデバイスのみ表示)。
起動バージョン	デバイスの起動ソフトウェアバージョン(ルートデバイスのみ表示)。
CPU 使用量	CPU 使用量 (%)。
メモリ使用量	メモリ使用量 (%)。

6.5 WAN

[WAN] メニューでは、WAN 関連のネットワークの接続に関する設定、表示を行います。

- WAN サービス
- WAN 統計
- 光モジュールのステータス

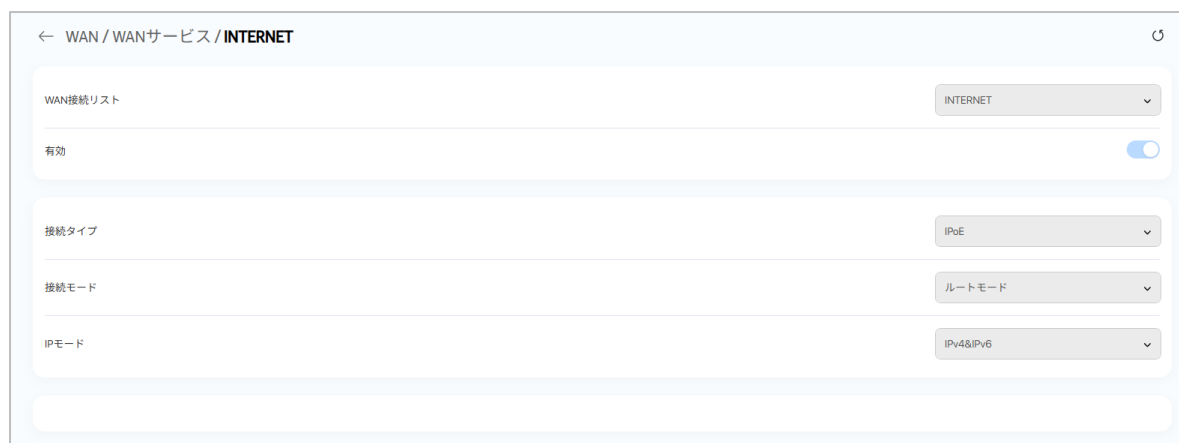
6.5.1 WAN サービス

1 メニューで [WAN] > [WAN サービス] の順に選択します。

WAN サービス情報の概要が表示されます。表示されている WAN サービスをクリックすることで、接続設定を表示、変更することができます。



2 1でサービス名をクリックすると、サービス内容が表示されます。



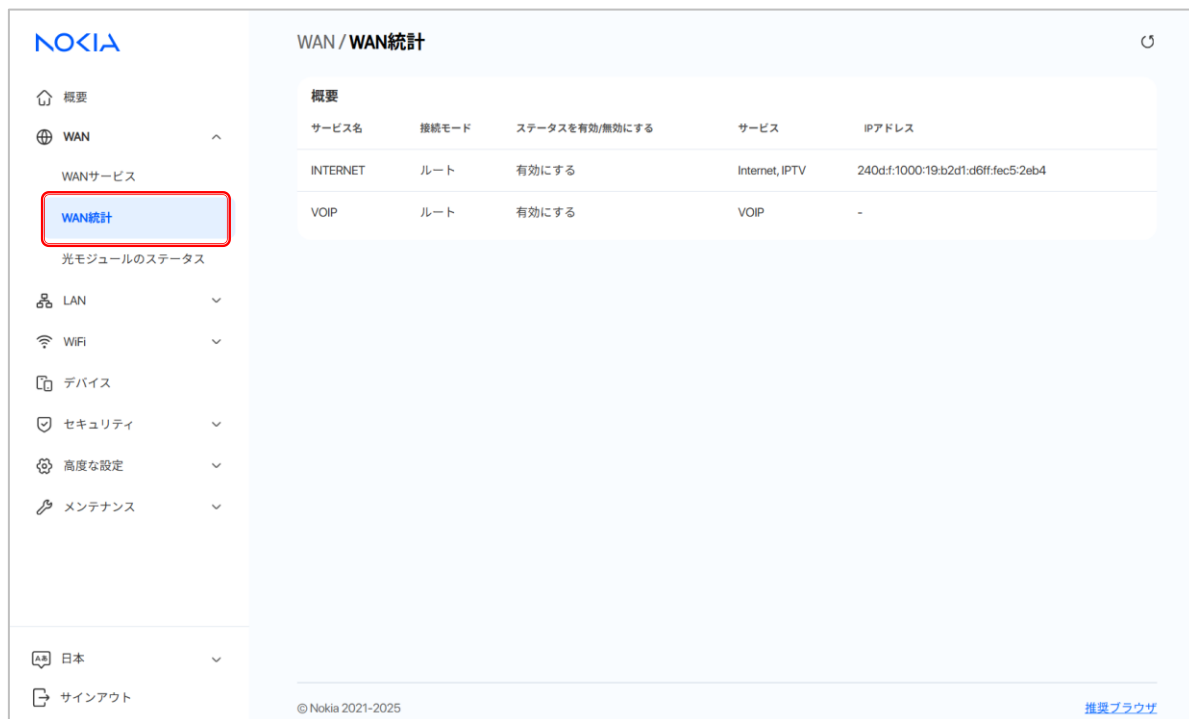
3 次のパラメータが表示されます。

フィールド	説明
WAN 接続リスト	WAN 接続のプロファイル名が表示されます。
有効	WAN 接続の有効性がトグルボタンで表示されます。
接続タイプ	接続タイプが表示されます。 ・ IPoE ・ PPPoE
接続モード	WAN 接続のモードが表示されます。 ・ ルートモード
IP モード	IP モードが表示されます。このフィールドは接続モードが ルートモード のときのみ有効です。 ・ IPv4 ・ IPv4 & IPv6 ・ IPv6 IP モードに IPv4 & IPv6 または IPv6 が選択されている場合は、 アドレス方法、プレフィックス委任を有効にする、プレフィックスタイプ が設定されている必要があります。

6.5.2 WAN 統計

1 メニューで [WAN] > [WAN 統計] の順に選択します。

WAN 統計の情報が表示されます。



The screenshot displays the Nokia user interface for WAN statistics. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: 概要 (Overview), WAN (selected), WANサービス (WAN Services), 光モジュールのステータス (Optical Module Status), LAN, WiFi, デバイス (Devices), セキュリティ (Security), 高度な設定 (Advanced Settings), and メンテナンス (Maintenance). The 'WAN' menu item is expanded, and 'WAN統計' (WAN Statistics) is highlighted with a red rectangular box. The main content area is titled 'WAN / WAN統計' and features a table with the following data:

サービス名	接続モード	ステータスを有効/無効にする	サービス	IPアドレス
INTERNET	ルート	有効にする	Internet, IPTV	240d:f:1000:19:b2d1:d6ff:fec5:2eb4
VOIP	ルート	有効にする	VOIP	-

At the bottom of the page, there is a copyright notice '© Nokia 2021-2025' and a link to '推奨ブラウザ' (Recommended Browser).

2 1でサービス名をクリックすると、サービス内容を表示するページが表示されます。

← WAN / WAN統計 / INTERNET

アップ

サービス

WAN接続リスト

有効

INTERNET

サービスの詳細

IPアドレス (v6)	240d:f:1000:19:b2d1:d6ff:fec5:2eb4
IPv6アドレスプレフィックス	240d:f:1000:19::/64
ゲートウェイ (v6)	fe80::ffff:c0a8:b01
プライマリDNS (v6)	2000:0:0:300::3

サービス統計

カウント数	INTERNET
送信バイト数	9666921
受信バイト数	3048460
送信パケット数	109389
受信パケット数	37294

MAP-E

WAN IPv4アドレス	219.104.144.0
WAN IPv6アドレス	240d:f:1000:19:db:6890::

MAP-Eポートが利用可能です

4096-4111	8192-8207	12288-12303
16384-16399	20480-20495	24576-24591
28672-28687	32768-32783	36864-36879
40960-40975	45056-45071	49152-49167
53248-53263	57344-57359	61440-61455

フィールド	説明
PON ポートのステータス	
PON リンクのステータス	PON リンクのステータスがアップまたはダウンで表示されます。
サービス	
WAN 接続リスト	WAN 接続のプロファイル名が表示されます。
有効	WAN 接続の有効性がトグルボタンで表示されます。
サービスの詳細	
IP アドレス(v6)	WAN 側の IPv6 アドレスが表示されます。
IPv6 アドレスプレフィックス	IPv6 アドレスプレフィックスが表示されます。
ゲートウェイ(v6)	WAN 側の IPv6 ゲートウェイアドレスが表示されます。
プライマリ DNS(v6)	プライマリ DNS(IPv6) アドレスが表示されます。
IPv4 アドレス	WAN 側の IPv4 アドレスが表示されます。(*)
ネットマスク	WAN 側の IPv4 ネットマスクが表示されます。(*)
ゲートウェイ	WAN 側の IPv4 ゲートウェイアドレスが表示されます。(*)
プライマリ DNS	プライマリ DNS(IPv4) アドレスが表示されます。(*)
セカンダリ DNS	セカンダリ DNS(IPv4) アドレスが表示されます。(*)
サービス統計	
カウント数	統計情報を表示するサービス名が表示されます。
送信バイト数	送信したバイト数が表示されます。
受信バイト数	受信したバイト数が表示されます。
送信パケット数	送信したパケット数が表示されます。
受信パケット数	受信したパケット数が表示されます。
MAP-E(MAP-E モードでのみ表示されます)	
WAN IPv4 アドレス	WAN IPv4 アドレスが表示されます。(**)
WAN IPv6 アドレス	WAN IPv6 アドレスが表示されます。(**)
MAP-E ポートが利用可能です(MAP-E モードでのみ表示されます)	
MAP-E で利用可能なポート範囲が表示されます。(**)	

(*) このフィールドは、MAP-E モードでは表示されません。

(**) このフィールドは、MAP-E モードでのみ表示されます。

6.5.3 光モジュールのステータス

1 メニューで [WAN] > [光モジュールのステータス] の順に選択します。

光モジュールのステータス情報が表示されます。



フィールド	説明
シリアル番号	シリアル番号が表示されます。
レーザーバイアス電流	レーザーバイアス電流が、 μA の単位で表示されます。
光モジュール電圧	光モジュールの電圧が、 μV の単位で表示されます。
光モジュール温度	光モジュールの温度が、 $^{\circ}\text{C}$ の単位で表示されます。
受信光信号レベル(1577nm)	1577nm での受信光信号レベルが、dBm の単位で表示されます。
送信光信号レベル(1270nm)	1270nm での送信光信号レベルが、dBm の単位で表示されます。
下限光閾値	下限の光信号の閾値が、dBm の単位で表示されます。
上限光閾値	上限の光信号の閾値が、dBm の単位で表示されます。

6.6 LAN

[LAN] メニューでは、LAN 関連のネットワークの接続に関する設定、表示を行います。

- DHCP IPv4
- DHCP IPv6
- LAN 統計

6.6.1 DHCP IPv4

1 メニューで [LAN] > [DHCP IPv4] の順に選択します。

DHCP IPv4 の設定状況が表示されます。

The screenshot shows the NOKIA web interface for LAN / DHCP IPv4 configuration. The left sidebar contains a navigation menu with options: 概要, WAN, LAN (selected), DHCP IPv4 (highlighted with a red box), DHCP IPv6, LAN統計, WiFi, デバイス, セキュリティ, 高度な設定, and メンテナンス. The main content area is titled 'LAN / DHCP IPv4' and contains the following fields:

- IPv4アドレス: 192.168.1.1
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- DHCP有効化: ☒
- DHCP開始IPアドレス: 192.168.1.2
- DHCP終了IPアドレス: 192.168.1.254
- DHCPリース時間: 1440 (2~129600分, 0を入力したときは1日を意味する。)
- プライマリDNS: (empty)
- セカンダリDNS: (empty)

At the bottom of the main area is a '保存' (Save) button. The footer shows '© Nokia 2021-2025' and a '推奨ブラウザ' (Recommended browser) link.

2 次のパラメータを確認します。

フィールド	説明
IPv4 アドレス	ONT の IPv4 アドレス。
サブネットマスク	ONT のサブネットマスク。
DHCP 有効化	DHCP が有効かを示す。このトグルボタンが有効化されていないときは、DHCP 機能は使われません。このトグルボタンが有効化されていないときは、DHCP 開始 IP アドレス、DHCP 終了 IP アドレス、DHCP リース時間を設定する必要はありません。
DHCP 開始 IP アドレス	DHCP IP アドレスの範囲の開始 IP アドレス。
DHCP 終了 IP アドレス	DHCP IP アドレスの範囲の終了 IP アドレス。
DHCP リース時間	DHCP リース時間(分の単位)。2 から 129600 分、または 1 日のときは 0。
プライマリ DNS	プライマリ DNS IP アドレス。
セカンダリ DNS	セカンダリ DNS IP アドレス。

6.6.2 DHCP IPv6

1 メニューで [LAN] > [DHCP IPv6] の順に選択します。

DHCP IPv6 の設定状況が表示されます。

The screenshot displays the NOKIA web interface for configuring DHCP IPv6. The left sidebar shows the navigation menu with 'LAN' selected, and 'DHCP IPv6' is highlighted with a red box. The main content area is titled 'LAN / DHCP IPv6' and contains several configuration sections:

- LANプレフィックスの構成**
 - プレフィックス構成: WAN提供のプレフィックスを使用
 - インターフェース: INTERNET
 - 受信IPv6プレフィックス: 240d:f:1000:19::/64
- ゲートウェイ用LANプレフィックス構成**
 - プレフィックス委任を有効にする: ☐
- IPv6アドレス方式**
 - アドレス方法: ステートレスアドレス自動設定 (SLAAC)
 - DHCPv6で追加オプションを受信: ☒
- 高度なルーター広告の構成**
 - 定期的なRAメッセージの最大間隔: 600 秒
 - 定期的なRAメッセージの最小間隔: 200 秒

At the bottom of the page, there is a copyright notice '© Nokia 2021-2025' and a link to '推奨ブラウザ' (Recommended Browser).

2 次のパラメータを確認します。

フィールド	説明
LAN プレフィックスの構成	
プレフィックス構成	プレフィックス設定のオプション。 ・ WAN 提供のプレフィックスを使用 (プレフィックスは WAN から得る) ・ 静的 (プレフィックスを入力して有効にする)
静的 IPv6 プレフィックス	静的 IPv6 プレフィックス。このフィールドは、プレフィックス構成に 静的 を選択したときのみ表示されます。
受信 IPv6 プレフィックス	受信 IPv6 プレフィックス。このフィールドは、プレフィックス構成に WAN 提供のプレフィックスを使用 を選択したときのみ表示されます。
ゲートウェイ用 LAN プレフィックス構成	
プレフィックス委任を有効にする	プレフィックス委任を有効にするには、トグルボタンを選択します。
IPv6 アドレス方式	
アドレス方法	リストから宛先指定方法のオプションを選択します。 ・ ステートレスアドレス自動設定 (SLAAC) ・ ステートフル DHCPv6
DHCPv6 で追加オプションを受信	DHCPv6 経由の追加オプションを有効にするには、トグルボタンを選択します。このフィールドは、アドレス方式に ステートレスアドレス自動設定 (SLAAC) を選択したときのみ表示されます。
高度なルーター広告の構成	
定期的な RA メッセージの最大間隔	定期的な RA メッセージの最大間隔(秒の単位)。4 から 1800 秒まで。
定期的な RA メッセージの最小間隔	定期的な RA メッセージの最小間隔(秒の単位)。4 から 1800 秒まで。

6.6.3 LAN 統計

1 メニューで [LAN] > [LAN 統計] の順に選択します。

LAN の統計情報が表示されます。



情報	LAN 1	LAN 2	LAN 3	LAN 4
ステータス	アップ	ダウン	ダウン	ダウン
デュプレックスモード	フルデュプレックス	ハーフデュプレックス	ハーフデュプレックス	ハーフデュプレックス
最大ビットレート	1000	自動	自動	自動
送信バイト数	9729394	0	0	0
受信バイト数	503678	0	0	0
送信パケット数	7799	0	0	0
受信パケット数	2780	0	0	0
送信エラー数	0	0	0	0
送信パケットを破棄	0	0	0	0
受信パケットを破棄	0	0	0	0
マルチキャスト送信パケット	261	0	0	0
マルチキャスト受信パケット	105	0	0	0
CRC受信エラー	0	0	0	0

© Nokia 2021-2025 [推奨ブラウザ](#)

フィールド	説明
LAN イーサネット情報	イーサネットのステータス、IP アドレス、サブネットマスク、MAC アドレス、受信と送信バイト、パケットが表示されます。
情報	ステータス、デュプレックスモード、最大ビットレート、受信や送信バイトやパケット数、CRC 受信エラーなどが表示されます。

6.7 WiFi

[WiFi] メニューでは、WiFi 関連のネットワークの接続に関する設定、表示を行います。

- WiFi ネットワーク
- 高度な設定
- WiFi 統計

6.7.1 WiFi ネットワーク

1 メニューで [WiFi] > [WiFi ネットワーク] の順に選択します。

現在の WiFi ネットワークの情報が表示されます。ネットワークの詳細を表示するには、[詳細] をクリックします。



2 ネットワークのSSIDの設定を見たり、編集するには「詳細」をクリックします。

詳細設定画面が表示されます。

【暗号化モードが WPA3-エンタープライズ以外のとき】

The screenshot shows the 'WiFi / WiFiネットワーク / X1426-C0D5-G' settings page. The left sidebar has a menu with '概要', 'WAN', 'LAN', 'WiFi', '高度な設定', 'WiFi統計', 'デバイス', 'セキュリティ', '高度な設定', and 'メンテナンス'. The 'WiFi' section is expanded, showing 'WiFiネットワーク' as the selected option. The main content area is titled 'SSID構成' and contains the following settings:

- SSID名: X1426-C0D5-G
- SSIDを有効にする: ☒
- 帯域タイプ: 2.4GHz
- SSIDインデックス: 1
- WiFiネットワークをブロードキャスト: ☒
- 端末間通信の禁止: ☐
- 合計最大ユーザー数: 128
- 暗号化モード: WPA2-パーソナル
- WiFiキー: 12345678901234567890
- WPSを有効にする: ☒

Below the SSID configuration, there is a 'WPSモード' section with a dropdown menu set to 'PBC' and a 'WPS接続' button. At the bottom right, there is a '保存' (Save) button. The footer shows '© Nokia 2021-2025' and a '推奨ブラウザ' (Recommended browser) link.

【暗号化モードが WPA3 エンタープライズの場合】

The screenshot shows the 'WiFi / WiFiネットワーク / X1426-C0D5-G' settings page, specifically the '暗号化モード' (Encryption Mode) section. The left sidebar is the same as in the previous screenshot. The main content area is titled '暗号化モード' and contains the following settings:

- 暗号化モード: WPA3-エンタープライズ
- プライマリRADIUSサーバ: 0.0.0.0
- プライマリRADIUSポート: 1812
- プライマリRADIUSパスワード: 12345678
- RADIUSアカウンティングサーバポート: 1813
- RADIUSアカウンティングサーバキー: 0987654321
- RADIUSアカウンティングサーバの時間間隔: 0

At the bottom right, there is a '保存' (Save) button. The footer shows '© Nokia 2021-2025' and a '推奨ブラウザ' (Recommended browser) link.

3 次のパラメータを設定します。

フィールド	説明
SSID 名	SSID 名が表示されます。
SSID を有効にする	SSID を有効にするには、トグルボタンを選択します。
帯域タイプ	帯域タイプが表示されます。
SSID インデックス	SSID インデックスが表示されます。
WiFi ネットワークをブロードキャスト	WiFi ネットワークのブロードキャストを有効にするには、トグルボタンを選択します。
端末間通信の禁止	端末間の通信を禁止するには、トグルボタンを選択します。
合計最大ユーザー数	合計の最大ユーザー数が表示されます。
暗号化モード	暗号化モードをリストから選択します。 • WPA2 パーソナル • WPA3 パーソナル • WPA3 パーソナル-移行 • WPA3 エンタープライズ • なし
WiFi キー	WiFi キーを入力します。
WPS を有効にする	WPS を有効にするには、トグルボタンを選択します。
WPS モード	必要な WPS モードをリストから選択します。 • PBC • STA PIN • AP PIN
WPS 接続 (ボタン)	WPS 接続を実行します。このボタンは、 WPS を有効にする を選択すると表示されます。
プライマリ RADIUS サーバ	WPA3 エンタープライズで使用するプライマリ RADIUS サーバのアドレスを設定します。(*)
プライマリ RADIUS ポート	WPA3 エンタープライズで使用するプライマリ RADIUS ポートを設定します。(*)
プライマリ RADIUS パスワード	WPA3 エンタープライズで使用するプライマリ RADIUS パスワードを設定します。(*)
RADIUS アカウンティングサーバーポート	WPA3 エンタープライズで使用する RADIUS アカウンティングサーバーポートを設定します。(*)
RADIUS アカウンティングサーバーキー	WPA3 エンタープライズで使用する RADIUS アカウンティングサーバーキーを設定します。(*)
RADIUS アカウンティングサーバーの時間間隔	WPA3 エンタープライズで使用する RADIUS アカウンティングサーバーの時間間隔を設定します。(*)

(*) このフィールドは、暗号化モードに **WPA3 エンタープライズ**を選択すると表示されます。

メモ

1. 暗号化モードが WPA3 エンタープライズのとき、次のオプションを使うことはできません：
WiFi キー、WPS を有効にする、WPS モード
2. 暗号化モードが WPA3 エンタープライズのとき、次のオプションを使うことができます：
プライマリ RADIUS サーバ・ポート・パスワード、RADIUS アカウンティングサーバーポート・サーバーキー・サーバーの時間間隔

4 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.7.2 高度な設定

1 メニューで [WiFi] > [高度な設定] の順に選択します。

ワイヤレスネットワークの高度な設定、表示を行う画面が表示されます。

2 ワイヤレスの 2.4GHz のパラメータを確認、設定するためには [2.4GHz] タブを選択します。

The screenshot shows the Nokia WiFi Advanced Settings interface. On the left, a sidebar menu lists various settings: 概要 (Overview), WAN, LAN, WiFi, WiFiネットワーク (WiFi Network), 高度な設定 (Advanced Settings - highlighted with a red box), WiFi統計 (WiFi Statistics), デバイス (Devices), セキュリティ (Security), and メンテナンス (Maintenance). The main content area is titled 'WiFi / 高度な設定'. It features a 'ネットワークを最適化' (Optimize Network) section with a 'チャンネル最適化を実行する' (Run Channel Optimization) button. Below this, there are tabs for '2.4GHz' (selected and highlighted with a red box) and '5GHz'. The 'ワイヤレス (2.4 GHz)' (Wireless (2.4 GHz)) section includes a toggle for '有効にする' (Enable) which is turned on, and a dropdown for 'モード' (Mode) set to '802.11b/g/n/ax'. The bottom section contains several configuration options: 'チャンネルの選択' (Channel Selection) set to '手動' (Manual), 'チャンネル帯域幅' (Channel Bandwidth) set to '20MHz', 'チャンネル' (Channel) set to '1', '送信電力' (Transmit Power) set to '100%', and '合計最大ユーザー数' (Total Maximum Number of Users) set to '128'. A '保存' (Save) button is located at the bottom right. The footer shows '© Nokia 2021-2025' and a link to '推奨ブラウザ' (Recommended Browser).

3 次のパラメータを確認、設定します。

フィールド	説明
有効にする	2.4GHz のワイヤレスを有効にするには、トグルボタンを選択します。
モード	ワイヤレスモードをリストから選択します。 • 802.11b/g/n/ax • 802.11b/g/n • 802.11b • 802.11g • 802.11n • 802.11b/g • 802.11g/n • 802.11n/ax
チャンネルの選択	チャンネルをリストから選択します。 • 自動 • 手動 注意 チャンネル管理を自動から手動に切り替える場合、チャンネル、チャンネル帯域幅、および地域によっては、変更が有効になり、ワイヤレスネットワークが再び機能するまで数分かかることがあります。また、再起動後も同様の遅延が発生します。この設定は 自動 にしておくことをお勧めします。
チャンネル帯域幅	手動 を選択した場合のみ、帯域幅をリストから選択します。 • 20MHz • 40MHz
チャンネル	手動 を選択した場合のみ、チャンネルをリストから選択します。 • 1~13
送信電力	送信電力のパーセンテージをリストから選択します。 • 100% • 50% • 25% • 12%
合計最大ユーザー数	最大ユーザー数を入力します。

4 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

5 ワイヤレスの 5GHz のパラメータを確認、設定するためには [5GHz] タブを選択します。

The screenshot displays the NOKIA WiFi settings interface. On the left, a sidebar menu includes options like 概要, WAN, LAN, WIFI, and 高度な設定 (Advanced Settings), which is currently selected. The main content area is titled 'WiFi / 高度な設定'. It features a 'ネットワークを最適化' (Optimize Network) section with a 'チャンネル最適化を実行する' (Run Channel Optimization) button. Below this, the '2.4GHz' and '5GHz' tabs are visible, with '5GHz' being the active tab. The 'ワイヤレス (5 GHz)' (Wireless (5 GHz)) section contains a toggle for '有効にする' (Enable) which is turned on, and a 'モード' (Mode) dropdown set to '802.11a/n/ac/ax'. A detailed configuration table follows, showing settings for channel selection, bandwidth, channel number, transmit power, and maximum users. A '保存' (Save) button is located at the bottom right of the settings table.

設定項目	設定値
チャンネルの選択	手動
チャンネル帯域幅	20MHz
チャンネル	36
送信電力	100%
合計最大ユーザー数	128

6 次のパラメータを確認、設定します。

フィールド	説明
有効にする	5GHz のワイヤレスを有効にするには、トグルボタンを選択します。
モード	ワイヤレスモードをリストから選択します。 • 802.11a/n/ac/ax • 802.11a/n/ac • 802.11n/ac/ax
チャンネルの選択	チャンネルをリストから選択します。 • 自動 • 手動 注意 チャンネル管理を自動から手動に切り替える場合、チャンネル、チャンネル帯域幅、および地域によっては、変更が有効になり、ワイヤレスネットワークが再び機能するまで数分かかることがあります。また、再起動後も同様の遅延が発生します。この設定は自動にしておくことをお勧めします。
チャンネル帯域幅	手動 を選択した場合のみ、帯域幅をリストから選択します。 • 20 MHz • 40 MHz • 80 MHz • 160 MHz
チャンネル	手動 を選択した場合のみ、チャンネルをリストから選択します。 • 36/40/44/48/52/56/60/64/100/104/108/112/116/120/124/128/32/136/140/144
送信電力	送信電力のパーセンテージをリストから選択します。 • 100% • 50% • 25% • 12%
合計最大ユーザー数	最大ユーザー数を入力します。128 の最大ユーザー数を設定できます。

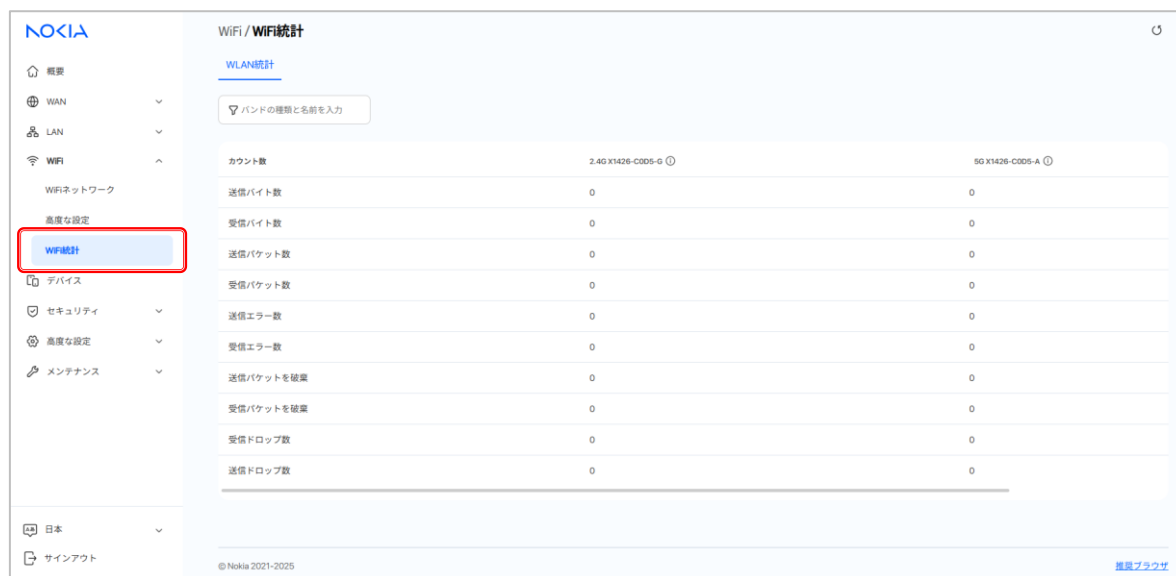
7 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.7.3 WiFi 統計

1 メニューで [WiFi] > [WiFi 統計] の順に選択します。

WiFi 統計のページが表示されます。



The screenshot shows the Nokia WiFi management interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: 概要, WAN, LAN, WiFi, WiFiネットワーク, 高度な設定 (highlighted with a red box), WiFi統計 (highlighted with a red box), デバイス, セキュリティ, 高度な設定, and メンテナンス. The main content area is titled 'WiFi / WiFi統計' and shows a table of statistics for two bands: 2.4G X1426-C005-G and 5G X1426-C005-A. The table has 12 rows of statistics, all of which are currently at 0.

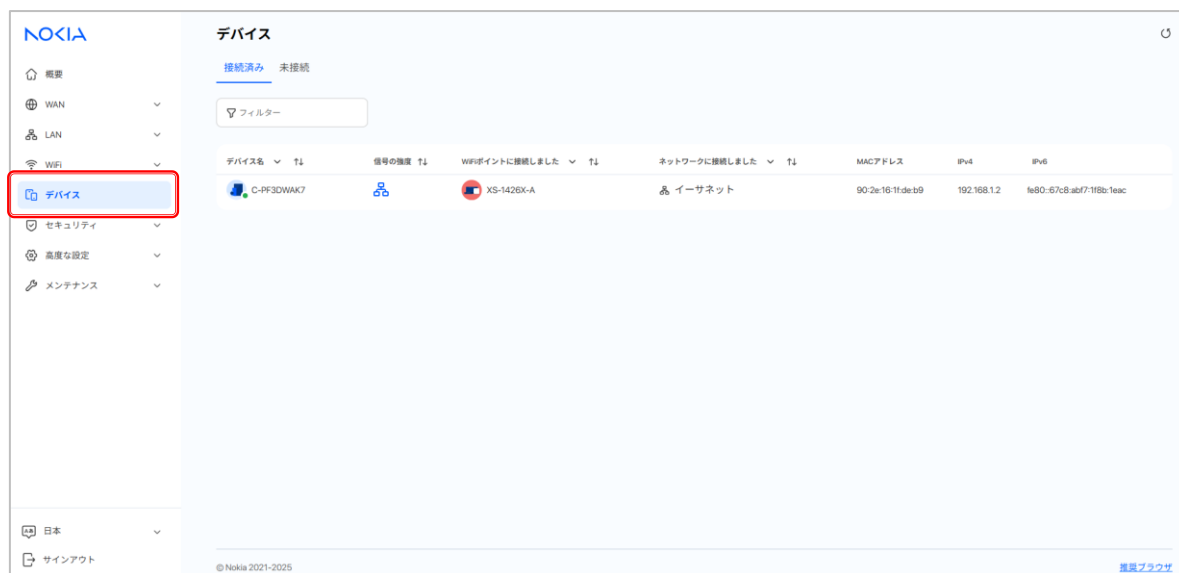
	2.4G X1426-C005-G	5G X1426-C005-A
カウント数	0	0
送信バイト数	0	0
受信バイト数	0	0
送信パケット数	0	0
受信パケット数	0	0
送信エラー数	0	0
受信エラー数	0	0
送信パケットを破棄	0	0
受信パケットを破棄	0	0
送信ドロップ数	0	0
受信ドロップ数	0	0

6.8 デバイス

【デバイス】メニューでは、デバイス関連の情報が表示されます。

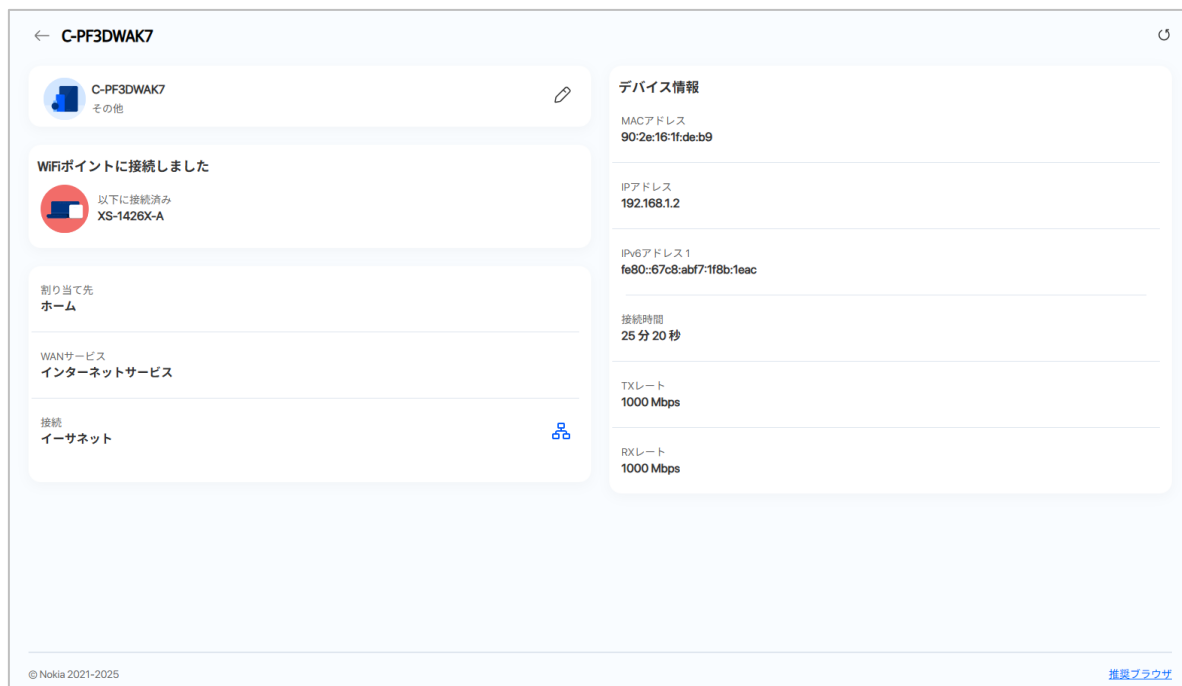
1 メニューで【デバイス】を選択します。

デバイスページにデバイスが表示されます。



2 デバイスをクリックすると、デバイス情報ページが表示されます。

デバイス情報ページではネットワークの中でのデバイスに関する詳細な情報が表示されます。



6.9 セキュリティ

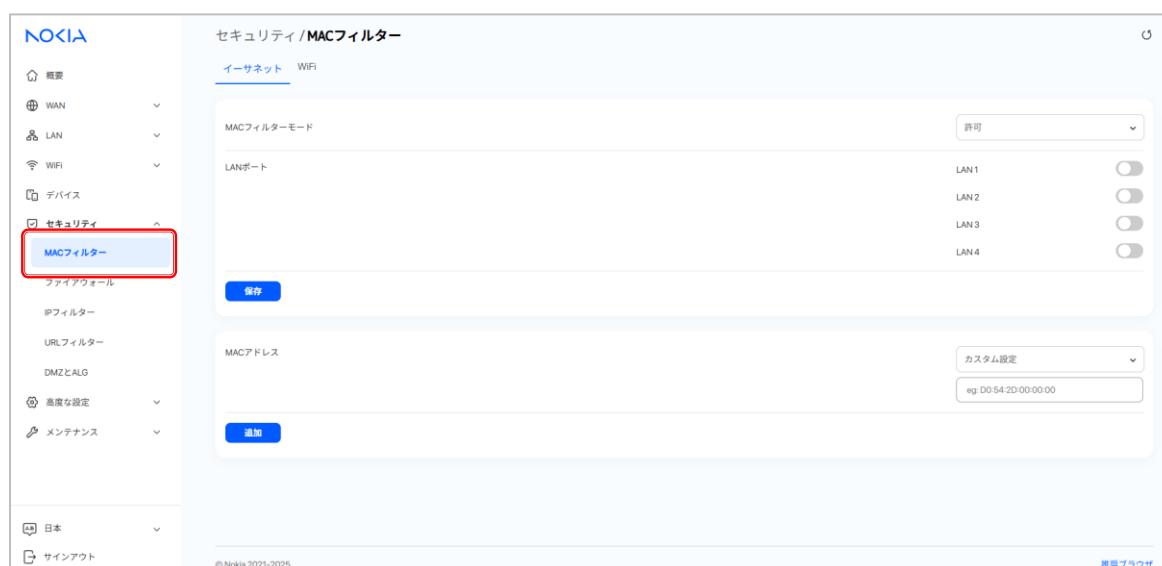
【セキュリティ】メニューでは、セキュリティに関する設定、表示を行います。

- MAC フィルター
- ファイアウォール
- IP フィルター
- URL フィルター
- DMZ と ALG

6.9.1 MAC フィルター

1 メニューで【セキュリティ】>【MAC フィルター】の順に選択します。

MAC フィルターに関する設定項目が表示されます。



2 イーサネットインターフェースに関する次のパラメータを設定します。

フィールド	説明
イーサネットインターフェース	
MAC フィルターモード	リストから MAC フィルターモードを選択します。 ・許可 ・ブロック済み
LAN ポート	MAC フィルターを有効にするには、トグルボタンを選択します。
MAC アドレス	MAC アドレスをリストから選択するか、 カスタム設定 を選択して MAC アドレスを入力します。

3 【保存】をクリックします。

設定内容が保存されます。

4 【WiFi】タブをクリックし、SSID に関する次のパラメータを設定します。

フィールド		説明
WiFi SSID		
SSID		リストから SSID を選択します。
MAC フィルターモード		リストから MAC フィルターモードを選択します。 ・許可 ・ブロック済み
有効		MAC フィルターを有効にするには、トグルボタンを選択します。
SSID		リストから SSID を選択します。
MAC アドレス		MAC アドレスをリストから選択するか、 カスタム設定 を選択して MAC アドレスを入力します。

5 【保存】をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.9.2 ファイアウォール

1 メニューで [セキュリティ] > [ファイアウォール] の順に選択します。

ファイアウォールに関する設定項目が表示されます。



フィールド	説明
セキュリティレベル	リストからセキュリティレベル（オフ／低／高）を選択します。
攻撃からの保護	リストからアタックプロテクションの 有効 または 無効 を選択します。デフォルトは有効です。

注意

- ファイアウォールのセキュリティは、本装置により提供されるサービスのみに適用されます。LAN 側からのインターネットアクセスは、このファイアウォールの影響を受けません。
- 高、低、およびオフの 3 つのセキュリティレベルを利用できます。

レベル	説明
高レベル	プリルーティングおよびアプリケーション サービスはサポートされていません。UDP ポート 8000 を使用してサービスにアクセスできます。たとえば、FTP では 8021 を使用でき、Telnet では 8023 を使用できます。通常の UDP は使用できません。RG アクセスは LAN 側経由では許可されますが、WAN 側経由では許可されません。
低レベル	すべてのアウトバウンド トラフィックとピンホール定義されたインバウンド トラフィックが許可されます。プリルーティングがサポートされています：ポート転送、DMZ、ホスト アプリケーション、およびホスト ドロップ。以下のアプリケーション サービスもサポートされています：DDNS、DHCP、DNS、H248、IGMP、NTP クライアント、SSH、Telnet、TFTP、TR-069、および VoIP。次のタイプの ICMP メッセージが許可されます：エコー要求と応答、宛先に到達不能、TTL 超過。他のタイプの ICMP メッセージはブロックされます。DNS プロキシは、LAN から WAN へはサポートされますが、WAN から LAN へはサポートされません。
オフ	すべての受信トラフィックと送信トラフィックが許可されます。ファイアウォール セキュリティは有効ではありません。

2 ファイアウォールを設定します。

3 「保存」をクリックします。

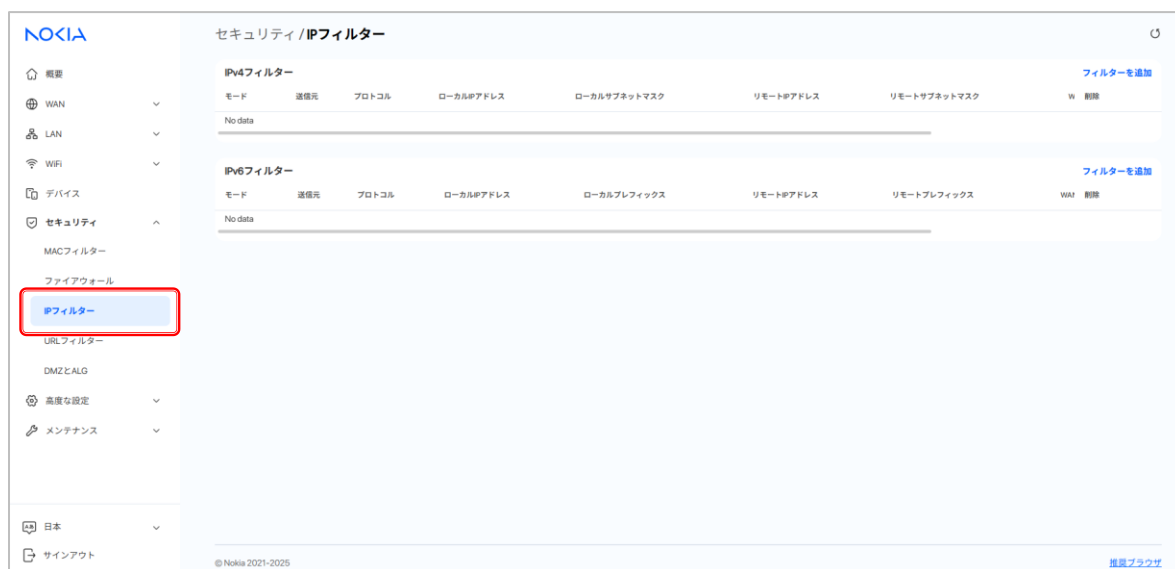
設定内容が保存されます。

6.9.3 IP フィルター

※本機能は MAP-E モードでは動作しません。

1 メニューで [セキュリティ] > [IP フィルター] の順に選択します。

IP フィルターに関する設定項目が表示されます。



- 2 IPv4 または IPv6 のフィルターを追加するには、[フィルターを追加] をクリックします。**
IP フィルター追加のページが表示されます。

【IPv4 フィルター】

← セキュリティ / IPフィルター / IPv4フィルターを追加 🔄 保存

IPフィルターを有効にする ☐

モード アップストリーム用にドロップ ▼

送信元 カスタム設定 ▼

ローカルIPアドレス E.g. 192.168.1.10

ローカルサブネットマスク E.g. 255.255.255.0

リモートIPアドレス E.g. 8.8.8.8

リモートサブネットマスク E.g. 255.255.255.0

プロトコル ALL ▼

【IPv6 フィルター】

← セキュリティ / IPフィルター / IPv6フィルターを追加 🔄 保存

IPフィルターを有効にする ☐

モード アップストリーム用にドロップ ▼

送信元 カスタム設定 ▼

ローカルIPアドレス E.g. fe80::1

ローカルプレフィックス E.g. 64

リモートIPアドレス E.g. 2001:4860:4860::8888

リモートプレフィックス E.g. 64

プロトコル ALL ▼

3 次のパラメータを設定します。

フィールド	説明
IPv4 フィルターを追加、または IPv6 フィルターを追加、のパラメータ	
IP フィルターを有効にする	IP フィルターを有効にするには、トグルボタンを選択します。
モード	リストから IP フィルターのモードを選択します。 ・アップストリーム用にドロップ ・ダウンストリーム用にドロップ ・アップストリーム用に承認 ・ダウンストリーム用に承認
送信元	リストから内部クライアントを選択します。 ・カスタム設定: 下記で入力された IP アドレスを使います。 ・IP: ONT に接続されているデバイスの IP を使います。
IPv4 フィルターを追加、のパラメータ	
ローカル IP アドレス	ローカル IP アドレスを入力します。
ローカルサブネットマスク	ローカルサブネットマスクを入力します。
リモート IP アドレス	リモート IP アドレスを入力します。
リモートサブネットマスク	リモートサブネットマスクを入力します。
プロトコル	リストから、アプリケーションプロトコルまたは ALL 、を選択します。
IPv6 フィルターを追加、のパラメータ	
ローカル IP アドレス	ローカル IP アドレスを入力します。
ローカルサブネットマスク	ソースプレフィックスを入力します。
リモート IP アドレス	宛先の IP アドレスを入力します。
リモートサブネットマスク	宛先のプレフィックスを入力します。
プロトコル	リストから、アプリケーションプロトコルまたは ALL 、を選択します。

4 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.9.4 URL フィルター

メモ

100 個までの URL フィルターを追加できます。

1 メニューで [セキュリティ] > [URL フィルター] の順に選択します。

URL フィルターに関する設定項目が表示されます。

The screenshot displays the Nokia web management interface for the 'URL フィルター' (URL Filter) settings. On the left, a sidebar contains a navigation menu with options like '概要', 'WAN', 'LAN', 'WiFi', 'デバイス', 'セキュリティ', 'MACフィルター', 'ファイアウォール', 'IPフィルター', 'URLフィルター' (highlighted), 'DMZとALG', '高度な設定', and 'メンテナンス'. The main content area is titled 'セキュリティ / URL フィルター'. It features a section 'URL フィルター' with a description: 'フィルターのタイプを選択してから、フィルターするURLを入力してください。最大100件のURLフィルターに対応しています。'. Below this is a toggle switch for 'URL フィルターを有効にする'. A dropdown menu for 'URL フィルタータイプ' is set to 'ブロック'. There are input fields for 'URL アドレス' and 'ポート番号', with a note that the default port is 80. A blue button 'フィルターを追加 +' is located at the bottom of the form. The footer shows '© Nokia 2021-2025' and a link to '推奨ブラウザ'.

メモ

HTTPS に URL フィルターを使うことはできません。HTTPS を使うときは URL は暗号化されます。

2 次のパラメータを設定します。

フィールド	説明
URL フィルターを有効にする	URL フィルターを有効にするには、トグルボタンを選択します。
URL フィルタータイプ	リストから URL フィルターのタイプを選択します。 ・ブロック ・許可
URL アドレス	URL アドレスを入力します。
ポート番号	ポート番号を入力します。デフォルトは 80 です。

3 [フィルターを追加+] をクリックします。

URL フィルターが追加されます。

6.9.5 DMZ と ALG

※本機能は MAP-E モードでは動作しません。

1 メニューで [セキュリティ] > [DMZ と ALG] の順に選択します。

DMZ と ALG に関する設定項目が表示されます。

フィールド	説明
ALG 構成	ALG がサポートするプロトコル（FTP／TFTP／SIP／H323／RTSP／L2TP／IPSEC／PPTP）を有効にするには、トグルボタンを選択します。
DMZ 設定	
DMZ を有効にする	選択した WAN 接続で DMZ を有効にするには、トグルボタンを選択します。
DMZ IP アドレス	リストから DMZ IP アドレスを選択するか、 カスタム設定 を選択して DMZ IP アドレスを入力します。

2 有効にする ALG のトグルボタンを選択します。

3 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

4 DMZ を設定します。

5 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.10 高度な設定

〔高度な設定〕メニューでは、以下の項目を設定できます。

- ポート転送
- ポートトリガー
- NTP
- UPnP

6.10.1 ポート転送

※本機能は MAP-E モードでは動作しません。

1 メニューで〔高度な設定〕>〔ポート転送〕の順に選択します。

ポート転送に関する設定項目が表示されます。

The screenshot shows the Nokia web interface for 'Port Forwarding' settings. The left sidebar contains a navigation menu with 'Port Forwarding' highlighted. The main content area has the title '高度な設定 / ポート転送' and a '保存' (Save) button. The settings include:

- WANポート: Two input fields for port range.
- LANポート: Two input fields for port range.
- 内部クライアント: A dropdown menu set to 'カスタム設定' (Custom Setting) and an input field for IP address.
- プロトコル: A dropdown menu set to 'TCP'.

2 ポート転送を設定します。

フィールド	説明
WAN ポート	WAN ポートの範囲を入力します。
LAN ポート	LAN ポートの範囲を入力します。
内部クライアント	リストから接続済みデバイスを選択するか、 カスタム設定 を選択して関連づけられている IP アドレスを入力します。
プロトコル	リストから、ポート転送プロトコルを選択します: • TCP • UDP • TCP/UDP

3 【保存】をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.10.2 ポートトリガー

※本機能は MAP-E モードでは動作しません。

1 メニューで [高度な設定] > [ポートトリガー] の順に選択します。

ポートトリガーに関する設定項目が表示されます。

The screenshot shows the Nokia web interface for 'Port Trigger' settings. The left sidebar contains a menu with 'Port Trigger' highlighted. The main content area is titled '高度な設定 / ポートトリガー' and contains the following fields:

- オープンポート: Two input boxes for the open port range.
- トリガーポート: Two input boxes for the trigger port range.
- 有効期限: A text input box with the value '600' and a note '範囲: 1~999999秒'.
- オープンプrotocol: A dropdown menu with 'TCP' selected.
- トリガーするプロトコル: A dropdown menu with 'TCP' selected.

A '保存' (Save) button is located in the top right corner. The footer shows '© Nokia 2021-2025' and a link to '推奨ブラウザ'.

2 ポートトリガーを設定します。

フィールド	説明
オープンポート	オープンポートの範囲を入力します。
トリガーポート	トリガーポートの範囲を入力します。
有効期限	有効期限を秒の単位で入力します。1 から 999999 秒まで入力可能です。
オープンプrotocol	リストから、オープンポートのプロトコルを選択します: • TCP • UDP • TCP/UDP
トリガーするプロトコル	リストから、トリガーポートのプロトコルを選択します: • TCP • UDP • TCP/UDP

3 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.10.3 NTP

1 メニューで [高度な設定] > [NTP] の順に選択します。

NTP に関する設定項目が表示されます。

2 NTP を設定します。

フィールド	説明
NTP サービスを有効にする	NTP サービスを有効にするには、トグルボタンを選択します。
現在の日付と時刻	ローカルの現在時刻と日付が表示されます。
プライマリタイムサーバー	リストから時刻サーバーを選択するか、 カスタム設定 を選択して時刻サーバーのアドレスを入力します。
セカンダリタイムサーバー	リストから時刻サーバーを選択するか、 カスタム設定 を選択して時刻サーバーのアドレスを入力します。設定しない場合は、なしを選択します。
サードタイムサーバー	リストから時刻サーバーを選択するか、 カスタム設定 を選択して時刻サーバーのアドレスを入力します。設定しない場合は、なしを選択します。
インターバル時間	時刻サーバーから時刻を取得する間隔（単位：秒）を入力します。0 と、15 から 259200 秒まで入力可能です。
タイムゾーン	リストからローカルタイムゾーンを選択します。

3 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.10.4 UPnP

1 メニューで [高度な設定] > [UPnP] の順に選択します。

UPnP に関する設定項目が表示されます。



2 UPnP を有効にするにはトグルボタンを選択し、IGD バージョンをリストから選択します。

3 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.11 メンテナンス

[メンテナンス] メニューでは、以下の項目を設定できます。

- パスワードを変更
- 診断

6.11.1 パスワードを変更

- 1 メニューで [メンテナンス] > [パスワードを変更] の順に選択します。
パスワードを変更する項目が表示されます。

The screenshot shows the Nokia maintenance interface. On the left, a sidebar contains a list of menu items: 概要, WAN, LAN, WIFI, デバイス, セキュリティ, 高度な設定, and メンテナンス. The 'メンテナンス' item is expanded, and 'パスワードを変更' is highlighted with a red rectangle. Below it is '診断'. At the bottom of the sidebar are language and sign-out options. The main content area is titled 'メンテナンス / パスワードを変更' and contains four input fields: '元のパスワード', '新しいパスワード', '新しいパスワードをもう一度入力', and 'パスワードのヒント'. Below these fields is a '保存' button. A note explains that for security, the password must be a mix of letters, numbers, and special characters, and should not contain hints. The footer shows '© Nokia 2021-2025' and a '推奨ブラウザ' link.

- 2 新しいパスワードを設定します。

フィールド	説明
元のパスワード	これまでのパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワードをもう一度入力	確認のため、上記で入力した新しいパスワードを再度入力します。
パスワードのヒント	パスワードのヒントとなる文字列を入力します。

パスワードには以下のルールがあります。

- パスワードには半角の大文字、小文字、数字、そして次の特殊文字を使うことができます (! # + , - / @ _ : =])。
- パスワードは 8 から 24 文字にしなければなりません。
- 最初の文字は数字か文字でなければなりません。
- パスワードには、数字、文字、特殊文字の中から、少なくとも 2 つのタイプの文字を使わなくてはなりません。
- 8 回より多く、同じ文字を続けて使うことはできません。

- 3 [保存] をクリックします。

設定内容が保存されます。

6.11.2 診断

1 メニューで [メンテナンス] > [診断] の順に選択します。

診断に関する設定項目が表示されます。

The screenshot shows the Nokia web interface. On the left sidebar, the 'メンテナンス' (Maintenance) menu is expanded, and the '診断' (Diagnosis) option is highlighted with a red rectangle. The main content area is titled 'メンテナンス / 診断' and shows the 'WAN' configuration page. The settings include:

- WAN: Protocol (IPv4), WAN接続リスト (LAN/WANインターフェース), IPまたはドメイン名 (empty field).
- Ping: Ping (toggle off), 経路探索 (toggle off).
- Ping試行回数: 1-1000 (4), 1-1000.
- パケット長: 64-1500 (64), 64-1500.
- トレースホップの最大数: 1-255 (30), 1-255.

 At the bottom, there are buttons for 'テストを開始' (Start Test) and 'キャンセル' (Cancel). The footer shows '© Nokia 2021-2025' and a link to '推奨ブラウザ' (Recommended Browser).

2 診断項目を設定します。

フィールド	説明
プロトコル	リストからプロトコルを選択します。 - IPv4 - IPv6
WAN 接続リスト	LAN/WAN インターフェースが表示されます。
IP またはドメイン名	IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
Ping	Ping を実施するには、トグルボタンを選択します。
経路探索	経路探索(traceroute)を実施するには、トグルボタンを選択します。
Ping 試行回数 (1~1000)	Ping 試行を実行する回数 (1~1000) を入力します。デフォルトは 4 です。(Admin ユーザーでは表示のみで変更できません)
パケット長 (64~1500)	Ping パケット長 (64~1500) を入力します。デフォルトは 64 です。(Admin ユーザーでは表示のみで変更できません)
トレースホップの最大数 (1~255)	ホップの最大追跡回数 (1~255) を入力します。デフォルトは 30 です。(Admin ユーザーでは表示のみで変更できません)

3 [テストを開始] をクリックします。

結果は、画面下側に表示されます。

メモ

テストを取り消す場合は [キャンセル] をクリックします。

7 トラブルシューティング

問題	対応方法
POWER LED が消灯	電源アダプタが本装置に正しく接続されていることを確認してください。
LINE LED が消灯し、 ALARM LED が点灯	光ファイバーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
WAN LED が消灯	正しい光ファイバーケーブルが使われていることを確認してください。
	光ファイバーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
TEL LED が消灯	RJ11 ケーブルの両端が正しく接続されていることを確認してください。
	電話機の受話器がオンフックの場合、LED が消灯します。受話器を確認してください。
WPS LED が赤く点灯	機器側 / 無線 LAN アダプターの WPS ボタンが押されていることを確認してください。
WLAN LED が消灯	Web GUI 上で WLAN が正しく有効になっていることを確認してください。無効になっている場合は、WebGUI、または WLAN ボタンで有効化してください。
ソフトウェアのバージョン がわからない	メニューで [概要] を選択し、「ネットワークマップ」のデバイス名 (XS-1426X-A) をクリックしてください (「6.4 概要」手順 3 参照)。
ファクトリーリセットできない	メニューで [概要] を選択し、「ネットワークマップ」のデバイス名 (XS-1426X-A) をクリックします。表示された画面で「工場出荷時のデフォルト」の [リセット] をクリックしてください (「6.4 概要」手順 3 参照)。または、背面のリセットボタンを 10 秒間以上押し続けると、装置が工場出荷時の設定にリセットされます。